

## 関東農林水産物輸出戦略検討会の設置・検討状況

### 1 関東農林水産物輸出戦略検討会の設置

近年の我が国農林水産物の貿易動向は、輸入自由化の進行、消費者ニーズの多様化などにより、金額面で世界第一位の農産物純輸入国となり、食料の国内自給率は先進国で最低水準となっている。

一方、関東地域では、野菜、果樹、花きや米・麦など多種多様な農林水産物が生産されて首都圏等に供給されており、うんしゅうみかん、なし、茶や花きなど、その一部は海外に輸出されているものもあるが、貿易ノウハウの不足や海外マーケットへのチャレンジ意識の未醸成などにより、潜在的な生産力が活かされていない現状にある。

このため、管内の多種多様な農林水産物を世界のグローバルマーケットへ輸出するための戦略展開について検討し、輸出を促進するとともに、管内農林水産物の生産の拡大を図るものとして、「関東農林水産物輸出戦略検討会」が設置された。

検討会では、委員は、農林水産物の輸出に関して知見を有する別紙の者を委嘱。

検討会は、必要に応じ、関係者から意見を求めることができる。事務局は、関東農政局企画調整室として、関東地域の農林水産物の輸出について意見を交換し、戦略を策定することとした。

#### 関東農林水産物輸出戦略検討会検討委員名簿

安部 新一	宮城学院女子大学学芸部生活文化学科教授
大豆生田 清志	農林水産省大臣官房貿易関税課輸出対策室長
川上 俊次	食品コンサルタント
河田 和光	社団法人日本水産物貿易協会専務理事
桜井 研	東京海洋大学資源管理学科講師（座長）
佐藤 正彦	J A全農長野生産販売部きのご課考査役
嶋津 治夫	千葉県農林水産部副技監、兼農林水産政策課政策室長
下渡 敏治	日本大学生物資源科学部食品経済学科、大学院生物資源科学研究科教授
野下 尅彦	株式会社グローバルコミュニケーション代表取締役（座長代理）
野本 達也	株式会社組合貿易資材・食品部資材・食品チームリーダー
福井 昌弘	静岡県農業水産部マーケティング室長
山室 啓介	独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）産業技術・農水産部農水産課長
阮蔚（Ruan Wei）	株式会社農林中金総合研究所調査第二部副主任研究員